

平成23年度 社団法人砂防学会 会員実勢

(会員種別)	平成23年度期首	【参考】 平成22年度期首	増減
	(人数)	(人数)	(人数)
正会員	2 0 7 9	2 0 5 8	2 1
個人 国内	1 8 3 4	1 8 1 5	1 9
個人 海外	1 7	1 8	- 1
法人等団体	2 2 8	2 2 5	3
名誉会員	8	8	0
学生会員	1 3 4	1 1 0	2 4
賛助会員	2 0 6	2 1 7	- 1 1
特級	1 8	1 9	- 1
一級	3 0	3 3	- 3
二級	5 1	5 4	- 3
三級	1 0 7	1 1 1	- 4

平成 22 年度 事業報告

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

I. 研究活動

(1) 研究発表会の開催

平成 22 年 5 月 26 日長野県・長野市「若里市民文化ホール」において開催された平成 22 年度（社）砂防学会通常総会に引き続き、26 日、27 日に研究発表会、28 日に現地研修会（地附山地すべり災害復旧現場の跡地利用状況と善光寺地震コース、平成 18 年・21 年諏訪湖周辺・天竜川流域豪雨災害と砂防・治山見学コース、山ノ内町・観光地を守る為の砂防事業と歴史的砂防施設の見学コース）を実施した。研究発表会では、企画セッション、テーマ別セッション、一般口頭発表、ポスターセッションの 4 形式をとり、企画セッションとして「大規模崩壊現象とその対策手法について」、テーマ別セッションとして、「砂防における流域調査方法についてー最近の計測・観測技術を活用した流域調査と今後の課題ー」、「森林の土砂災害抑制機能を考える」、「崩壊発生に及ぼす地域特性の影響」の各セッションを行い、一般口頭発表として、警戒・避難、火山砂防・砂防計画、構造物、砂防事業、斜面崩壊、水文、管理・計測、土砂流出、土石流、環境砂防、地震・地すべり、緑化・森林管理の各セッションを行った。本研究発表会では、企画セッションと「森林の土砂災害抑制機能を考える」、「崩壊発生に及ぼす地域特性の影響」のセッションが一般公開された。

(2) シンポジウムの開催

平成 22 年 10 月 27 日、山口県防府市「デザインプラザ HOFU」において、第 42 回（社）砂防学会シンポジウム（テーマ：「花崗岩地帯の土砂災害の特徴とその対策」）を開催した。引き続き 28 日には現地研修会を実施した。

(3) 特別シンポジウムの開催

平成 23 年 1 月 18 日、東京大学弥生講堂で（社）砂防学会特別シンポジウム「深層崩壊を考える」を開催した。

(4) 平成 22 年度若手研究技術開発助成の実施

1 課題の若手研究技術開発助成を採択し実施した。

課 題 名：「凍結融解による風化基岩からの土砂生産量と流出量の定量的観測」

研究代表者： 泉山 寛明（京都大学大学院工学研究科）

II. 国際学術交流

(1) 留学生講演会の開催

砂防学会研究発表会（平成 22 年長野大会）において、留学生講演会を実施した。

(2) 各種国際会議の案内

各種国際会議の案内を砂防学会誌 Vol.63No.1～No.6 号に掲載した。

III. 事業活動

(1) 出版

- 1) 砂防学会誌 Vol.63 No.1~No.6 までの 6 冊を刊行した。
- 2) 砂防学会誌英文誌, Vol.3No.1~No.2 を発刊した。
- 3) 平成 22 年度砂防学会研究発表会概要集 (Pub. No.57) を刊行した。
- 4) 第 42 回(社)砂防学会シンポジウム講演集 (Pub. No.58) を刊行した。
- 5) 平成 22 年度研究発表会概要集の PDF 化を実施した。
- 6) 砂防技術総覧の追加募集を学会誌及び学会ホームページ上で行った。

(2) 講習会, 現地検討会の開催

(財) 建設技術研究所との共催で砂防水理模型実験に関する講習会を平成 22 年 11 月 5 日 (金) につくば市において開催し, 参加者は 23 名であった。11 月 17 日 (水) ~18 日 (木) に栃木県日光市 (日光砂防事務所管内) において稲荷川・大谷川流域における大規模崩壊地からの土砂流出対策についての現地検討会を開催し, 13 名の参加があった。平成 22 年 12 月 14 日 (火) には砂防会館別館において 9 名の講師による「土砂災害対策施設とその効果」の講習会を 82 名の参加のもとに開催した。

(3) SAYER 会の開催

砂防学会の若手技術者が自由に議論・意見交換できる場として設立された SAYER 会の会合を関東地区 (平成 22 年 12 月 17 日, (財)砂防・地すべり技術センター) にて, 「砂防計画に関する疑問点」との議題で開催した。これらの内容は学会誌と学会ホームページで報告した。

(4) 「気候変化が土砂災害に及ぼす影響に関する研究委員会」の報告

研究開発部会に設置された標記委員会 (藤田正治委員長) の活動が最終年度を迎え, 報告書の取りまとめを行った。成果は砂防学会研究発表会 (平成 23 年神奈川大会)・企画セッションで報告される。

(5) 公募研究の審査と実施

平成 22 年度開始 (24 年度まで) の公募研究会助成として「衛星砂防学研究会」(代表者: 奈佐原頭郎) を採択し研究活動が開始された。また, 昨年度に引き続き「流砂のメカニズムに関する研究会」(代表者: 宮本邦明, 平成 21 年~23 年度) の公募研究会助成が行われた。

(6) 調査・研究の実施

1) 災害緊急調査

国内の土砂災害について災害調査委員会を結成し調査団を派遣した。鹿児島県南大隅町の土砂災害に係る緊急災害調査団 (下川悦郎団長) を 8 月 7 日に派遣し, 調査結果を砂防学会誌 9 月号 (Vol.63 No.3) に報告した。広島県庄原市の土砂災害に関する緊急災害調査団 (海堀正博団長) を 8 月 19~20 日に派遣し, 調査結果を砂防学会誌 11 月号 (Vol.63 No.4) に掲載した。また, 9 月 30 日に土木学会講堂で 4 学会 (砂防学会・地盤工学会・土木学会・日本地すべり学会) 主催の合同現地調査報告会を開催した。

2) 受託研究調査

- ① 「土砂災害が発生するおそれがある土地の区域等」の設定に関する検討業務
(財) 砂防フロンティア整備推進機構
- ② 大規模土砂災害及び二次災害の予測手法と対策に関する研究
(財) 砂防・地すべり技術センター
- ③ 流域の土砂生産・流出と自然環境変化の相互作用に関する研究

(社) 全国治水砂防協会

(7) 表彰

1) 平成 22 年度「砂防学会賞」受賞者を総会において表彰した。

・論文賞

受賞者：南里 智之 会員

対象論文：現地野外データ解析にもとづく 1926 年十勝岳大正泥流の流下・氾濫堆積過程に関する研究. 砂防学会誌, Vol.61, No.5, pp.21-30, 2009

・論文奨励賞

受賞者：近藤玲次 会員

対象論文：流砂の実態把握を目的とした安倍川上流大谷川流域における洪水時全流砂量観測. 砂防学会誌, Vol.60, No.5, pp.15-22, 2008

受賞者：中谷洋明 会員

対象論文：ハイドロフォン観測による小規模出水時の流砂量の統計解析. 砂防学会誌, Vol.61, No.5, pp.4-11, 2009

ハイドロフォンシステムの流砂捕捉率に対する流量の影響に関する事例検討. 砂防学会誌, Vol.61, No.4, pp.12-20, 2008

手取川上流域でのハイドロフォンを用いた流砂量観測及び解析. 砂防学会誌, Vol.60, No.3, pp.20-25, 2007

・砂防技術賞

受賞者：中谷加奈, 里深好文, 水山高久, 和田孝志 会員

対象事業：GUI を実装した土石流一次元シミュレータの開発

2) 平成 23 年度「砂防学会賞」受賞者を決定した。

・論文賞

受賞者：堤 大三 会員

対象論文：凍結融解による土砂生産に関する基礎的研究—田上山地裸地斜面における現地観測と数値シミュレーション—. 砂防学会誌, Vol.59, No.6, pp.3-13, 2007

・論文奨励賞

受賞者：今泉文寿 会員

対象論文：表層崩壊の無次元発生支配パラメータ. 砂防学会誌, Vol.62, No.2, pp.13-20, 2009

受賞者：堀田紀文 会員

対象論文：Phase classification of laboratory debris flows over a rigid bed based on the relative flow depth and friction coefficients. International Journal of Erosion Control Engineering, Vol. 1, No. 2, pp. 54-61, 2008 (砂防学会英文誌)

・砂防技術賞

受賞者：渡 正昭, 後藤宏二, 加藤光紀 会員

対象事業：鋼製土石流制御工の開発

(8) 平成 23 年度の若手研究助成

若手研究助成の公募を行い、4 課題を採択した。

① 「物理探査による大規模岩盤クリープ斜面内部構造の解明とクリープ活動期の推定」

代 表： 佐藤 剛 (帝京平成大学現代ライフ学部)

② 「山地小流域の水文・水質特性を指標とした土砂災害発生危険流域の予測手法に関する研究」

代 表： 藤本 将光 (京都大学学際融合教育研究推進センター)

③ 「凍結融解による風化基岩の破壊と流出プロセスの解明に向けた実験と観測」

代 表： 泉山 寛明 (京都大学大学院工学研究科)

④ 「コイル型 TDR センサと電気探査法を用いた山地斜面における雨水挙動プロセスの解明」

代 表： 山川 陽祐 (京都大学大学院農学研究科)

(9) 平成 23 年度の公募研究会

平成 23 年度開始の公募を行い、2 課題を採択した。

① 「自然斜面の安定度評価に関する研究会」

代 表： 岩佐 直人 (日鐵住金建材(株)商品開発センター)

② 「砂防学における「知の野生化」研究会」

代 表： 田中 隆文 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

また、それぞれ 21 年度採択、22 年度採択の 2 課題を継続する。

(10) 情報提供

砂防学会ホームページの管理・更新、メーリングリストの運営を行った。

(11) 砂防図書館の運営

当学会、(社)全国治水砂防協会、(財)砂防・地すべり技術センター、(財)砂防フロンティア整備推進機構、NPO 法人砂防広報センター、(社)斜面防災対策技術協会の 6 団体共同事業として、砂防に関する図書及び諸資料を収集、整理し砂防関係者等の調査研究と閲覧に供した。

IV. 砂防学会の運営事項

(1) 会議の開催

1) 総会

平成 22 年 5 月 26 日長野県長野市「若里市民文化ホール」において通常総会を開催した。出席者および委任状提出者は計 1594 名(定款 23 条による定足数は 1029 名)で総会は成立した。

議案：平成 21 年度事業報告

平成 21 年度収支決算報告

平成 22 年度事業計画(案)

平成 22 年度収支予算(案)

公益社団法人認定に係る手続きと定款改正(案)

第 31 期役員選任

平成 22 年度砂防学会賞授与

2) 理事会

第1回 平成22年5月25日（長野県長野市）

議案：平成21年度事業報告

平成21年度収支決算報告

平成22年度事業計画(案)

平成22年度収支予算(案)

公益社団法人認定に係る手続きと定款改正(案)

平成23年度砂防学会総会並びに研究発表会開催地の決定

学会の入退会者の承認

第2回 平成22年5月26日（長野県長野市）

議案：第31期(社)砂防学会役員紹介

第31期会長，副会長，専務理事の選任

第31期の各部会長，委員長の選任

第3回 平成22年10月26日（山口県防府市）

議案：国際砂防シンポジウムの開催計画について

「深層崩壊に関する基本事項に関わる検討委員会」の設置

公益法人制度改革対応委員会からの報告

平成23年度(社)砂防学会研究発表会「神奈川大会」の実行委員会の設置

平成23年度の公募研究会募集について

会員入退会者の承認

他学会などからの後援依頼について

その他

第4回 平成23年3月22日（東京都千代田区）

議案：平成23年度事業報告について

平成22年度収支決算（見込み）について

平成23年度事業計画（案）について

平成23年度収支予算（案）について

緊急災害調査委員会内規について

平成23年度シンポジウム開催地（案）と実行委員会の設置について

平成24年度総会並びに研究発表会開催地（案）について

若手人材育成推進委員会の設置について

平成23年度研究助成・公募研究会の応募状況と審査結果について

平成23年度砂防学会賞選考結果について

国際シンポジウム中長期計画について

年会費未納者の定款第7条「会員資格の喪失（除名）」の候補者について

会員入退会者の承認

3) 部会長・幹事会会議

第1回 平成22年7月15日（東京都千代田区）

議案：第3回理事会に付議する議案の審議

第2回 平成23年3月9日（東京都千代田区）

議案：第4回理事会に付議する議案の審議

4) 公益法人制度改革対応委員会

第1回委員会 平成22年10月12日（東京都千代田区）：

経過報告と公益法人化申請に向けた課題，移行認定までの工程・実施計画の検討。

第2回委員会 平成23年3月16日（東京都千代田区）：

経過報告と公益法人化申請に向けた課題，平成23年度予算案の検討。

5) 深層崩壊に関する基本事項に係わる検討委員会

第1回委員会 平成22年10月26日（山口県防府市）

第2回委員会 平成22年11月24日（東京都千代田区）

第3回委員会 平成22年12月20日（東京都千代田区）

6) 平成22年度「砂防学会賞」選考委員会の開催

平成23年2月5日（東京都千代田区），平成23年度砂防学会賞受賞候補者を選考した。

(2) その他の会議

1) 研究開発部会：若手研究助成及び公募研究会の募集・審査，平成23年度砂防学会シンポジウムテーマ検討，平成23年度研究発表会の企画セッション等のテーマ検討，緊急災害調査団の派遣，「気候変化が土砂災害に及ぼす影響に関する研究委員会」の実施，受託業務の実施等の業務を行うため延べ5回の部会を開催した。

2) 編集部会・編集委員会（和文誌）：投稿原稿の確認及び原稿処理状況報告，掲載原稿の決定，編集及び査読体制を検討した。

編集委員会（英文誌）：「砂防学会誌英文誌編集委員会」を開催，一般投稿原稿の募集，掲載原稿を決定した。

3) 国際部会：国際シンポジウム「International symposium on sediment disasters under the influence of climate change and tectonic activity (2nd)」(平成23年9月14～16日，北海道札幌市)の開催準備を行った。また，平成23年度研究発表会における留学生交流会の企画，各種国際会議情報の提供を行った。

4) 事業部会：SAYER会開催準備，砂防水理模型実験講習会・学会誌の特集号に関する講習会・現地検討会の開催準備，平成22年度研究発表会概要集のPDF化についての協議，平成23年度事業計画の検討等を行った。

5) 経理部会：総務部会と合同で，砂防学会の公益社団法人への移行に向けて，会計処理規定や，定款，規則，各種内規の見直し・検討を行った。

6) 総務部会：公益社団法人化に向けた情報収集と各種作業を経理部会と合同で行った。その他会費自動引き落としの作業や，JAFEEへのCPDプログラム提供の準備を行った。

平成 22 年度貸借対照表総括表
平成 23 年 3 月 31 日現在(決算)

(単位:円)

科 目	一般事業	受託事業	内部取引消去	合 計
I 資産の部				
流動資産				
現金預金	14,486,858	25,101,204	0	39,588,062
未収金	8,074,186	70,270	7,006,230	1,138,226
未収収益		7,980,000		7,980,000
前払金	450,075			450,075
流動資産合計	23,011,119	33,151,474	7,006,230	49,156,363
固定資産				
基本財産				
普通預金	30,000,000			30,000,000
基本財産合計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	4,719,587			4,719,587
減価償却引当資産	691,627			691,627
学術国際協力事業積立資産	18,000,000			18,000,000
特定資産合計	23,411,214	0	0	23,411,214
その他固定資産				
什器備品	6,997			6,997
その他固定資産合計	6,997	0	0	6,997
固定資産合計	53,418,211	0	0	53,418,211
資産合計	76,429,330	33,151,474	7,006,230	102,574,574
II 負債の部				
流動負債				
未払金	4,943,340	9,891,830	7,006,230	7,828,940
前受金	2,818,000			2,818,000
預り金	160,300	59,600		219,900
未払法人税等		649,600		649,600
未払消費税等	287,500			287,500
流動負債合計	8,209,140	10,601,030	7,006,230	11,803,940
固定負債				
退職給付引当金	4,719,587			4,719,587
固定負債合計	4,719,587	0	0	4,719,587
負債合計	12,928,727	10,601,030	7,006,230	16,523,527
III 正味財産の部				
一般正味財産	63,500,603	22,550,444	0	86,051,047
(うち基本財産への充当額)	30,000,000			30,000,000
正味財産合計	63,500,603	22,550,444	0	86,051,047
負債及び正味財産合計	76,429,330	33,151,474	0	102,574,574

平成 22 年度正味財産増減計算書総括表
平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日(決算)まで

(単位:円)

科 目	一般事業	受託事業	合 計
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
受取会費	20,861,000	0	20,861,000
正会員受取会費	14,483,000		14,483,000
学生会員受取会費	268,000		268,000
賛助会員受取会費	6,110,000		6,110,000
事業収益	7,120,811	20,580,000	27,700,811
出版事業収益	4,679,811		4,679,811
シンポジウム開催収益	2,350,000		2,350,000
講習会等開催収益	91,000		91,000
受託事業収益		20,580,000	20,580,000
雑収益	1,403,468	0	1,403,468
受取利息	50,411		50,411
雑収益	1,353,057		1,353,057
經常収益計	29,385,279	20,580,000	49,965,279
經常費用			
事業費	23,387,957	11,382,558	34,770,515
給料手当		80,650	80,650
旅費交通費		4,377,364	4,377,364
支払手数料		36,892	36,892
消耗品費		1,266,339	1,266,339
会議費		568,328	568,328
印刷製本費		859,175	859,175
貸借料		74,600	74,600
諸謝金		3,113,010	3,113,010
租税公課		40,200	40,200
委託費		966,000	966,000
研究開発部	910,765		910,765
編集部	874,856		874,856
国際部	646,066		646,066
事業部	123,466		123,466
総務部	920,294		920,294
広報検討委員会	210,630		210,630
出版事業費	10,926,255		10,926,255
図書館運営費	1,100,000		1,100,000
研究発表会等開催費	4,707,342		4,707,342
研究費	2,418,413		2,418,413
表彰制度運営費	549,870		549,870
管理費	8,839,350	7,585,560	16,424,910
給料手当	3,898,424	3,140,983	7,039,407
退職給付費用	620,000		620,000

福利厚生費	375,961	302,914	678,875
会議費	125,968	101,493	227,461
旅費交通費	720,467	580,483	1,300,950
通信運搬費	310,714	250,343	561,057
減価償却費	6,983		6,983
支払手数料	1,023,461	824,608	1,848,069
消耗品費	85,645	69,003	154,648
印刷製本費	107,692	86,768	194,460
光熱水料費	17,838	14,371	32,209
賃借料	1,334,227	1,074,994	2,409,221
租税公課	163,300	1,139,600	1,302,900
役員改選費	48,670		48,670
経常費用計	32,227,307	18,968,118	51,195,425
当期経常増減額	△2,842,028	1,611,882	△1,230,146
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,842,028	1,611,882	△1,230,146
一般正味財産期首残高	66,342,631	20,938,562	87,281,193
一般正味財産期末残高	63,500,603	22,550,444	86,051,047
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	63,500,603	22,550,444	86,051,047

財 産 目 録

平成 23 年 3 月 31 日決算

法人名：社団法人砂防学会

事業名：事業全体

科 目		金	額
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	現金手元有高	113,956	
郵 便 振 替	ゆうちょ銀行都道府県会館内郵便局	4,714,475	
郵 便 貯 金	ゆうちょ銀行都道府県会館内郵便局	478,927	
普 通 預 金	みずほ銀行 麴町支店	2,714,489	
	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	26,566,215	
定 期 預 金	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	5,000,000	
未 収 金	共通管理費負担金（内部振替）	6,935,960	
	砂防学会誌 刊行物代金	734,000	
	砂防学会誌 広告料等	404,226	
	その他（内部振替）	70,270	
未 収 収 益	働砂防・地すべり技術センター	7,980,000	
前 払 金	平成23年度総会並びに研究発表会	450,075	
流 動 資 産 合 計			56,162,593
固 定 資 産			
基 本 財 産			
普 通 預 金	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	30,000,000	
基 本 財 産 合 計		30,000,000	
特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 資 産	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	4,719,587	
減 価 償 却 引 当 資 産	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	691,627	
学 術 国 際 協 力 事 業 積 立 資 産	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	18,000,000	
特 定 資 産 合 計		23,411,214	
そ の 他 固 定 資 産			
什 器 備 品	事務局パソコン等	6,997	
そ の 他 固 定 資 産 合 計		6,997	
固 定 資 産 合 計			53,418,211
資 産 合 計			109,580,804
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	共通管理費負担金（内部振替）	6,935,960	
	砂防広報センター	3,683,400	
	公募研究助成金	457,420	
	出版事業費	339,036	
	その他一般事業 事業費・管理費	393,214	
	その他（内部振替）	70,270	
	受託事業研究調査費	2,955,870	
前 受 金	平成23年度分会費収入	2,818,000	
預 り 金	源泉所得税等	219,900	
未 払 法 人 税 等	法人税等22年度確定税額	649,600	
未 払 消 費 税 等	消費税等22年度確定税額	287,500	
流 動 負 債 合 計			18,810,170
固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	22年度期末要支給額	4,719,587	
固 定 負 債 合 計			4,719,587
負 債 合 計			23,529,757
正 味 財 産			86,051,047

財務諸表に対する注記

法人名：社団法人砂防学会
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ）を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(4) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づいて計上している。

(6) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(7) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	4,099,587	620,000	0	4,719,587
減価償却引当資産	684,644	6,983	0	691,627
学術国際協力事業積立資産	18,000,000	0	0	18,000,000
合計	52,784,231	626,983	0	53,411,214

財務諸表に対する注記

法人名：社団法人砂防学会
事業名：事業全体

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
普通預金	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
小 計	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	4,719,587	(0)	(4,719,587)	(4,719,587)
減価償却引当資産	691,627	(0)	(691,627)	(0)
学術国際協力事業積立資産	18,000,000	(0)	(18,000,000)	(0)
合 計	53,411,214	(0)	(53,411,214)	(4,719,587)

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	698,624	691,627	6,997
合 計	698,624	691,627	6,997

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし

8. 重要な後発事象

該当なし

9. その他

該当なし

(参考)

平成22年度収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額 (a)	決算額 (b)	増減 (a)-(b)	備 考
I 事業活動の部				
事業活動収入				
1. 基本財産運用収入	0	0	0	
基本財産運用収入	0	0	0	
2. 会費収入	20,590,000	20,861,000	△ 271,000	
正会員会費収入	13,870,000	14,483,000	△ 613,000	
学生会員会費収入	210,000	268,000	△ 58,000	
賛助会員会費収入	6,510,000	6,110,000	400,000	
3. 事業収入	27,510,000	27,700,811	△ 190,811	
出版事業収入	5,000,000	4,679,811	320,189	
シンポジウム開催収入	2,450,000	2,350,000	100,000	
講習会等開催収入	60,000	91,000	△ 31,000	
受託事業収入	20,000,000	20,580,000	△ 580,000	
4. 雑収入	50,000	1,403,468	△ 1,353,468	
受取利息	50,000	50,411	△ 411	
雑収	0	1,353,057	△ 1,353,057	
入				
事業活動収入合計(A)	48,150,000	49,965,279	△ 1,815,279	
II 事業活動支出				
1. 事業費支出	36,870,000	34,770,515	2,099,485	
出版事業費	12,500,000	10,926,255	1,573,745	
受託事業(研究調査費)支出	12,000,000	11,382,558	617,442	
研究発表会等開催支出	4,010,000	4,707,342	△ 697,342	
シンポジウム	3,950,000	4,595,842	△ 645,842	
講習会	60,000	111,500	△ 51,500	
研究費支出	2,600,000	2,418,413	181,587	
ワークショップ等	1,500,000	1,475,218	24,782	
突発災害緊急調査	600,000	432,045	167,955	
他学会協力	500,000	511,150	△ 11,150	
図書館運営費	1,100,000	1,100,000	0	
部会活動費	4,160,000	3,686,077	473,923	
研究開発部	900,000	910,765	△ 10,765	
編集部	750,000	874,856	△ 124,856	
国際部	500,000	646,066	△ 146,066	
事業部	400,000	123,466	276,534	
総務部	1,300,000	920,294	379,706	
JABEE 等対応委員会	10,000	0	10,000	
広報委員会	300,000	210,630	89,370	
表彰制度運営費	450,000	549,870	△ 99,870	

会員名簿作成費	50,000	0	50,000
2. 管理費	15,000,000	15,797,927	△ 797,927
人件費	7,400,000	7,718,282	△ 318,282
管理諸費	7,600,000	8,079,645	△ 479,645
事業活動支出計(B)	51,870,000	50,568,442	1,301,558
事業活動収支差額(A)-(B)	△ 3,720,000	△ 603,163	△ 3,116,837
Ⅱ 投資活動収支の部			
投資活動収入	0		
特定資産取崩収入	0	0	0
学術国際交流事業積立資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入計(C)	0	0	0
投資活動支出			
特定資産取得支出	627,000	626,983	0
退職給与引当資産取得支出	620,000	620,000	0
減価償却引当資産取得支出	7,000	6,983	17
学術国際交流事業積立資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計(D)	627,000	626,983	0
投資活動収支差額(C)-(D)	△ 627,000	△ 626,983	0
当期収支差額(A)-(B)+(C)-(D)	△ 4,347,000	△ 1,230,146	△ 3,116,837
前期繰越収支差額	38,582,569	38,582,569	0
次期繰越収支差額	34,235,569	37,352,423	△ 3,116,837

平成 23 年度 事業計画

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

基本方針

砂防に関する研究および調査を推進することにより広く土砂災害に関する防災科学技術の振興を図り、国土の保全、環境の創出、国民生活の安全、学術文化の進展と社会の発展等に寄与することを目的とする。

平成 23 年度においては、以下の事業を推進する。

- (1) 砂防に関する研究及び調査並びにその奨励と普及
- (2) 砂防に関する研究及び調査の助成
- (3) 砂防に関する研究発表会、講演会等の開催及び見学視察等の実施
- (4) 砂防に関する建議並びに諮問に対する答申
- (5) 砂防学会誌及び砂防に関する図書、報論文、資料等の刊行
- (6) 砂防関係図書及び資料の収集・保管・公開
- (7) 砂防の発展に資する学術国際交流
- (8) 砂防技術者の育成
- (9) その他この目的を達成するために必要な事業

事業計画

1. 研究活動

- (1) 総会並びに研究発表会

平成 23 年度通常総会	5 月 19 日	横浜市
研究発表会	5 月 18, 19 日	同上
現地研修会	5 月 20 日	神奈川県周辺など

- (2) シンポジウム

第 43 回 (社) 砂防学会シンポジウム	10 月 19 日	島原市
現地研修会	10 月 20 日	雲仙普賢岳周辺

- (3) 「若手研究助成」による研究技術開発とワークショップ活動の助成
- (4) 「公募研究会」による研究会活動の助成

2. 国際学術交流

- (1) 砂防学会研究発表会時に留学生交流会の実施
- (2) 海外災害調査団の派遣
- (3) 国際シンポジウムの開催
- (4) 各種国際会議等の最新情報を砂防学会誌に掲載

3. 事業活動

(1) 出版

- 1) 砂防学会誌 Vol.64 No.1～No.6 までの6冊と英文誌特別号（電子体）を刊行する。
- 2) 平成23年度砂防学会研究発表会概要集をPDF化し、HPに掲載する。
- 3) 第43回(社)砂防学会シンポジウム講演集を刊行する。
- 4) 砂防技術総覧の原稿を募集し追加する。
- 5) 調査・研究等の成果報告書を刊行する。

(2) 砂防に関する講演会・研究集会の企画・開催

- 1) 砂防水理模型実験講習会を開催する。
- 2) 現地検討会を開催する。
- 3) SAYAR会を開催する。
- 4) 「数値シミュレーションとその活用」に関する講習会を開催する。
- 5) 技術士継続教育（CPD）への支援を行う。
- 6) 「日中地震による土砂災害対策に関するシンポジウム」の開催。
- 7) 「奥飛騨土木・砂防技術者研究会」の共催。
- 8) 「若手人材育成推進委員会」の推進

(3) 調査・研究

- 1) 受託研究の実施。
- 2) 災害調査の実施。

(4) 表彰

- 1) 平成23年度砂防学会賞（「論文賞」, 「論文奨励賞」, 「砂防技術賞」）受賞者の表彰。
- 2) 平成24年度砂防学会賞（「論文賞」, 「論文奨励賞」, 「砂防技術賞」）受賞者の決定。

(5) 公益社団法人移行への取組み

- 1) 砂防学会の定款及び規則・内規等の変更・改定。
- 2) 公益社団法人認定申請関係書類の作成および申請。

4. 砂防図書・資料の保管整備, 砂防図書館の充実

5. 広報委員会活動として, 会員増に向けての対応, 学会活動の充実, 学会ホームページ, メールリングリストなどインターネットを通じた情報交換の促進に取り組む。

平成23年度 収支予算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額 (a)	前年度予算額 (b)	増 減 (a)-(b)	備考
I 事業活動の部				
事業活動収入				
1. 基本財産運用収入	9,000	0	9,000	
基本財産運用収入	9,000	0	9,000	
2. 会費収入	20,770,000	20,590,000	180,000	
正会員会費収入	14,400,000	13,870,000	530,000	
学生会員会費収入	260,000	210,000	50,000	
賛助会員会費収入	6,110,000	6,510,000	△ 400,000	
3. 事業収入	52,300,000	27,510,000	24,790,000	
出版事業収入	5,000,000	5,000,000	0	
研究発表会開催収入	12,350,000	0	12,350,000	
シンポジウム開催収入	4,800,000	2,450,000	2,350,000	
国内シンポジウム	3,800,000	2,450,000	1,350,000	
国際シンポジウム	1,000,000	0	1,000,000	
講習会等開催収入	150,000	60,000	90,000	
受託事業収入	30,000,000	20,000,000	10,000,000	
4. 雑収入	40,000	50,000	△ 10,000	
受取利息	40,000	50,000	△ 10,000	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入合計(A)	73,119,000	48,150,000	24,969,000	
II 事業活動支出				
1. 事業費支出	60,890,000	36,870,000	24,020,000	
出版事業費	10,800,000	12,500,000	△ 1,700,000	
受託事業(研究調査費)支出	18,000,000	12,000,000	6,000,000	
研究発表会等開催支出	24,530,000	4,010,000	20,520,000	
研究発表会	15,250,000	0	15,250,000	
シンポジウム	9,180,000	3,950,000	5,230,000	
国内シンポジウム	5,700,000	3,950,000	1,750,000	
国際シンポジウム	3,480,000	0	3,480,000	
講習会	100,000	60,000	40,000	
研究費支出	3,810,000	2,600,000	1,210,000	
研究助成・ワークショップ	3,000,000	1,500,000	1,500,000	
突発災害緊急調査	600,000	600,000	0	
他学会協力(技術者育成事業)	210,000	500,000	△ 290,000	
図書館運営費	1,100,000	1,100,000	0	
部会活動費	2,350,000	4,160,000	△ 1,810,000	
研究開発部	700,000	900,000	△ 200,000	
編集部	680,000	750,000	△ 70,000	
国際部	610,000	500,000	110,000	
事業部	360,000	400,000	△ 40,000	
総務部	0	1,300,000	△ 1,300,000	
JABEE対応委員会	0	10,000	△ 10,000	

広報委員会	0	300,000	△ 300,000
表彰制度運営費	300,000	450,000	△ 150,000
会員名簿作成費	0	50,000	△ 50,000
2. 管理費	17,130,000	15,000,000	2,130,000
人件費	7,700,000	7,400,000	300,000
管理諸費	9,430,000	7,600,000	1,830,000
事業活動支出計(B)	78,020,000	51,870,000	26,150,000
事業活動収支差額(A)-(B)	△ 4,901,000	△ 3,720,000	△ 1,181,000
Ⅱ 投資活動収支の部			
投資活動収入	0	0	0
特定資産取崩収入	0	0	0
学術国際交流事業積立資金取崩収入	18,000,000	0	18,000,000
投資活動収入計(C)	18,000,000	0	18,000,000
投資活動支出			
特定資産取得支出	2,857,000	627,000	2,230,000
退職給与引当資産取得支出	450,000	620,000	△ 170,000
減価償却引当資産取得支出	7,000	7,000	0
学術国際交流事業積立資産取得支出	2,400,000	0	2,400,000
敷金・保証金支出	1,280,000	0	1,280,000
敷金支出	1,280,000	0	1,280,000
投資活動支出計(D)	4,137,000	627,000	3,510,000
投資活動収支差額(C)-(D)	13,863,000	△ 627,000	14,490,000
当期収費差額(A)-(B)+(C)-(D)	8,962,000	△ 4,347,000	13,309,000
前期繰越収支差額	37,352,423	38,582,569	△ 1,230,146
次期繰越収支差額	46,314,423	34,235,569	12,078,854